

事業番号	09 03 01	事業改善シート（令和元年度実施事業分）	当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	需要に見合った水田利活用・経営安定総合対策事業		部局	農政部	課・室	農業技術課
			実施期間	S53～	E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	労働生産性					
総合的に展開する重点政策	2-1 革新力に富んだ産業の創出・育成		2-2 地域内経済循環の促進			
	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進		3-7 先端技術の積極的な活用・導入			

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現状】	○水田農業経営の持続的発展のためには、需要に即した計画生産や先端技術の導入による低コスト化などにより、再生産可能な所得の確保・向上が求められている。 ○米は農産物検査法に基づく1等比率が全国1位、収量が全国3位とトップクラスの生産を維持しているが、麦・大豆・そばは天候不順等により不安定な作柄となっている。 ○将来にわたり優良な主要農作物の種子の安定供給を図るため、種子生産者への支援が求められている。
	【目指す姿】	○消費者、実需者ニーズを踏まえ、地域の特色ある産地づくりを進めるために策定された「水田フル活用ビジョン」に沿った作付け誘導が図られている。 ○水田経営の複合化やスマート農業技術の導入による生産コスト削減が進められ経営の安定化が図られている。 ○県産主要農作物の品質の向上が図られ、ブランド化による優位販売が行われている。 ○主要農作物の種子生産体制の充実により、優良な種子が安定生産されている。
	【実施内容】	○研修会開催、実証フィールド設置、スマート農業技術の実証・導入、施設整備支援、米の適正生産の推進など

指標及びその達成状況 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし]						事業 コスト	区分(単位:千円)	H30年度	R1年度	
No.	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値		達成状況	前年度繰越	153,020	
								1	実需者ニーズの高い県オリジナル品種の作付面積	2,001ha
2	米の1等比率の全国順位	1位	2位↘	1位↗	1位		達成	合計(A)	801,291	342,219
3	水田への高収益作物などの作付面積	10,421ha	10,174ha↗	10,627ha↗	9,854ha		達成	うち一般財源	36,725	39,137
4	5ha以上の効率的な水田農業経営体数	652経営体	667経営体↗	729経営体↗	715経営体		達成	決算額(B)	617,386	335,902
							職員数(人)	7	7	

成果指標設定理由	①「第3期長野県食と農業農村振興計画」の達成指標であり、県オリジナル品種の普及・拡大状況を評価できるため。 ②本県において、品質の高い米生産が行われていることを評価できるため。 ③主食用米の計画生産と需要をふまえた水田への高収益作物の作付誘導により、水田の利活用状況を評価できるため。 ④本県の水田農業を担う効率的な水田農業経営を行う経営体の育成状況について評価できるため。
達成状況の分析	①水稲「風さやか」及び「信州ひすいそば」の作付けは協議会等関係機関が連携した計画的な生産振興により目標を上回ったが、麦・大豆は作り慣れた品種からの転換が進まず、全体では目標を下回った。 ②1等米比率全国1位プロジェクトによる各地域での実証ほ設置等により、農業者の品質向上への意識啓発が図られた。 ③水田フル活用ビジョンに基づく推進により、水田への高収益作物等の作付誘導が図られた。 ④担い手への農地集積、及び経営複合化の提案等により、効率的な水田農業経営体への誘導が図られた。

主な取組	○ 長野県主要農作物及び伝統野菜等の種子に関する条例の制定 ・県の種子生産の考え方と関係機関・関係者の役割を明確化、生産者支援を明示 ・水稲の種子伝染性病害対策を推進	 【ドローンによる薬剤散布の実演】  【知事も出席した「山恵錦」お披露目会】
	○ スマート農業技術の大規模モデル実証がスタート ・信州伊那谷スマート農業実証コンソーシアムが発足 ・先進技術の導入による省力化の効果を確認し、波及を目指す	
	○ 1等米比率全国1位奪還 ・関係機関と連携して高温障害や斑点米など等級落ち要因を分析し、現場指導を徹底	
	○ 水田農業の複合化の推進 ・経営規模に合った導入品目の提案など複合化のシミュレーション分析を実施	
	○ 県オリジナル品種の「風さやか」や酒米新品種「山恵錦」等をPR ・「山恵錦」のお披露目会と生産者や醸造関係者が一堂に会した産地検討会を開催	

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> ・オリジナル品種の振興については、消費傾向や需要動向を分析し、戦略的に生産拡大を図る必要がある。 ・主要農作物については、価格維持のため、需要に即した計画生産の徹底と、品質と生産性の向上を図る必要がある。 ・水稲大規模農家を中心に複合化を推進してきたが、労働力の確保や新たな機械整備が経営的に難しい場合がある。 ・主要農作物の種子生産地では、生産者の高齢化と後継者不足が顕著で、施設の老朽化が問題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産者団体と実需者団体の連携による戦略的なプロモーションによりブランド力の向上を図る。 ・市町村や地域団体等と連携し、引き続き計画生産を進めるとともに、先端技術導入の検討と普及を推進する。 ・集落営農組織や稲作農家の経営規模に合った園芸品目の導入支援により経営体の体質強化を図る。 ・「種子生産ビジョン」を策定し、種子生産に係る技術継承や施設更新について計画的に対策を進める。

事業番号 09 03 01 細事業一覧（令和元年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	需要に見合った水田利活用・経営安定総合対策事業	部局	農政部	課・室	農業技術課
-----	-------------------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
1	多様なニーズに対応する穀物生産振興事業	372,656 千円	83,182 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	穀類生産振興施設等の整備に対する支援	補助金	・農業収益力強化のための施設整備（2か所）、機械の導入（3か所）を実施
2	水稻及び麦・大豆・そばの生産振興	直接	・令和2年度長野県主要農作物生産振興基本計画を発行 ・生産体制の強化や水田経営の体質強化のため、麦・大豆そば生産拡大品質向上研修会、長野米商品性向上指導者研修会、水田農業トリプルアップ研修会を開催
3	農産物の検査業務	直接	・農産物検査制度に基づく、検査機関の登録審査及び立入検査の実施
4	地域食料自給圏の実証実験	直接	・地消地産を一層推進するため、生産から販売までの地域内循環システムに係わる実証ほ場の設置と検証

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
2	種子対策事業	12,688 千円	13,318 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	奨励品種決定調査	委託	・水稻県下10地点(農家委託)ほか麦、大豆、そばの奨励品種決定調査ほ場の設置、性状調査を実施
2	奨励品種決定調査	直接	・原原種及び原種について、農業試験場と野菜花き試験場内に採種ほ設置、性状調査を実施
3	原種センターへの支援	補助金	主要農作物種子(米、麦、大豆、そば)の安定生産・供給及び災害に備えた種子備蓄に係わる支援の実施(採種ほ場現地作柄調査、採種栽培指針の発行など)

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
3	経営所得安定対策推進事業	218,947 千円	223,744 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	制度への加入促進及び事業推進	補助金	・経営所得安定対策の説明会開催（9月、1月） ・農業者別生産数量目標に関する申請書配布、回収、現地確認 ・麦、大豆、そば等の転作作物の推進資料の作成

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
4	主要穀類オリジナル品種戦略的拡大支援事業		3,813 千円	4,484 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	「風さやか」のブランド 確立推進	補助 金	<ul style="list-style-type: none"> ・県下 箇所に「風さやか」モデル展示ほ設置（6箇所）、栽培講習会開催 ・「風さやか」のブランド力強化に向けた、メディア等を介したPRやイベント開催（テレビ等メディア：8回、イベント28回） 	
2	酒造好適米、小麦、そば 新品種の栽培実証及びブ ランド確立推進	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・酒造好適米「山恵錦」のお披露目会、産地検討会の開催 ・小麦「東山53号、55号」、そば「桔梗11号」の現地実証ほ設置 	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
5	農業経営カイゼン実践普及事業		3,355 千円	3,710 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	新たな経営改善手法の習 得と実践	委託	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模法人におけるカイゼン手法を活用した実践活動の支援（2法人） ・普及指導員のカイゼン手法の習得研修 	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
6	水田農業経営確立推進指導事業		5,926 千円	7,014 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	水田農家の経営複合化支 援	補助 金	<ul style="list-style-type: none"> ・水田農家の経営確立に向け、高収益作物等の施策・導入支援や、地域振興品目のブランド化等のPR活動を支援(14件) 	
2	米の計画生産に係る県推 進	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・各JAが策定した複合化推進計画に基づいた経営の複合化や、米の品質向上による水田農家の経営確立を支援 	